



「誠実・実行・こころざし！」

東伊豆町議会議員 須佐まもる
＜総務経済常任委員会＞

遺産センター
@富士山世界



イソブキ便り! 号外! 令和3年4月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18
Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで! http://www.knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm

facebook いいね! お願いします
Facebookページから情報をゲット!

地方創生コロナ関連補正予算成立! 観光商工関連に1億3千万支出へ!

国の新型コロナウイルス関連第3次補正予算において、当町の地方創生臨時交付金の配分1億1千万と決まりました。これに県からの交付金4千万と合わせて1億5千万規模の補正予算案が今議会に提出されています。今回の補正予算は当初予算と合わせて“15か月予算”と言われるように、1月から来年3月までの長いスパンで見られています。

事業継続化支援金に宿泊・飲食に20万、その他の事業所に10万円の支援

この大切な予算を決める3月定例会が22日に閉会しました。生活に直結したところで申し上げますと、昨年5月に実施しました事業継続化支援金の2回目を実施されます。こちらは宿泊、飲食、観光施設(大規模)には20万、その他の事業所は10万円支給されます。条件としてR2年12月から3月までのいずれかのひと月で前年同月比15%以上売り上げが減少している必要があります。

※中小企業庁が用意している一時金はこれとは別に実施されます。

プレミアム商品券と補助率9/10の備品購入費補助事業が継続

また、50%のプレミアム商品券事業を再度行います。今回は少額でも買いやすいよう3000円からの購入ができるようになりました。また、補助率9/10の備品購入費補助事業も継続されます。こちらは一部に品薄から納期の遅れも散見されることから支援増強のうえ継続されます。

前回の50%プレミアム商品券については思うように販売が伸びなかったのですが、今回も50%になりました。私は“プレミア率100%”ぐらいやらないと疲弊した町を活気づけないと考えています。プレミア率は1冊3000円で商品券を買ったとき、50%だと1500円余分に買い物ができる計算になりますし、100%ですと3000円余分に買い物ができます。また、商工会に聞きますと、「マックスバリュで使えるようにしてほしい」という要望が強いとのこと。

庁舎内の抗コロナ環境整備の推進

庁舎内の衛生環境整備やWeb会議整備、職員がコロナウイルスに感染した際にテレワークで業務ができるようシステムを改修します。コロナにかかってまで仕事…?私は疑問が残りましたが、変異種の拡大やテレワークのシステムには、さまざまな可能性がありますので納得しました。その他、新規事業参入者支援に100万円×3名分用意されます。この事業は未来の東伊豆町の産業を支える人を創るために大切な事業と考えます。

皆さまからのご意見をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。後援会員募集中です!!

どうなる！？ 熱川支所

その3

★町の行政改革の方針

熱川支所の形態見直し

ゴミの有料化

学校の統廃合

入湯税の引き上げ

施設の廃止

人員の削減

昨年の10月から熱川郵便局で窓口業務が始まりました。利用者は当初の予想どおり低空飛行を続けています。そのような中で、令和3年度予算には273万円の委託費が措置されています。支所の維持経費は12万程度。どっちが無駄か火を見るより明らかです。コロナ禍が常態化している中、逆に役所のリスクを分散化させることが求められると私は思います。

実は3月議会の町長の所信表明では、これまで「熱川支所は廃止」としてきたものが「形態見直し」と少しトーンダウンした感じがあります。今後議論の的になりますし、7月に住民説明会を予定していますがどういう展開になりますか！

町長の施政方針演説から、今年度の政策

★町の今年度の政策

町内産業の振興発展

次世代の育成支援

移住・定住の促進

健やかで生き生きと暮らせるまちづくり

安全・安心な環境整備

広域行政への対応

今年度は太田町長の最終年ということもあり、新たな政策は絞られた感があります。その中で「ゴミの有料化」は大きな問題です。先日、事業検討委員会から「ゴミ袋や持ち込みごみなどの利用料を引き上げるべき」と答申がなされました。

東伊豆町は町民のゴミへの負担が少ないと以前から言われてきました。エコセンターの大規模改修が終わりこれから返済が始まりますし、し尿処理施設も改修の計画があります。さらに一部事務組合の下

田の斎場でも炉の改修が始まるなど、生活する上で必要な施設の延命化は町にとって大切な問題です。

一方、3機とも故障している町営の風力発電施設ですが、3年度に撤去する方針です。平成16年から始まったこの事業も17年間で幕を下ろすことになりました。この間6億8千万ほどの売電収益がありましたが、それ以上に維持費がかかり長期的に見て赤字になりました。私はよく言います「巨大な白物家電」と。10年たつと修理が多くなるんです。取り壊しも含め民間企業が事業を承継する意思を見せてはいますが、騒音の問題に加え事故や故障など不測の事態を考慮しなければならず、憂慮している議員は多いです。

ザ! ココロザシ コラい!

平和の俳句

早いもので東日本大震災から十年になります。中日新聞(東京新聞)の「平和の俳句」という特設コーナーがあり、投句したところ入選の知らせが来ました。俳句に込めた思いを聞かせてほしいということになり、取材を受けることになりました。その内容が3月19日の新聞に掲載されています。

「平和の俳句・須佐衛」で検索するとヒットしますのでぜひご覧ください。

黄水仙

汚泥にひらく

孤高かな

